

第8号
平成元年9月1日

発行
下関女子短期大学
桜山会

☎(0832)23-0338
印刷 山陽事務機(有)

下関女子短期大学 桜山会だより

会長就任にあたって



会長 樋口 和枝

初秋の候、会員の皆様には益々ご健勝のことからお慶び申し上げます。

平成元年度の桜山会総会は七月九日(日)に、小倉ステーションホテルを会場として開催されました。その席で山中前会長の後を受けて不肖私が、会長をお引き受けすることとなりました。

桜山会総会も二十六回を数え、平成四年度には、開学三十周年を迎えることになりました。この伝統と前会長の残された業績を引き継ぐことは、私にとって大変な重荷ではありますが、学内に残られた役員の皆様、原田(四期)、古谷(六期)両副会長のご協力を得て、何とかこの大責を果たさせて戴きたいと考えております。

私も卒業して以来二十年、当時は家政科と保育科のみであったのが、音楽科が設置され、家政科は生活科学科と名称を変えて時代に

即応させ、卒業生も四千名を数えようとしています。校舎も新しく整備され、大学が大きく発展して行くのを見るのは嬉しいものです。

しかし、現実には目を転じるならこれから数年の後には、出生数の低下による受験生の減少は避けようがありません。又、進学が多様化の中で地方短大の生き残り等、問題は山積みしているのが現状です。

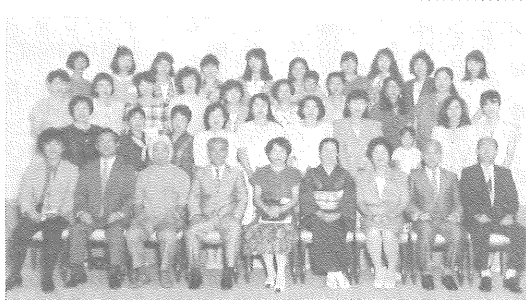
学校が大きく発展して行く嬉しさとともに、河野タカ先生の教えが希薄になって行くようで、寂しさも同時に感じています。タカ先生の教育方針を、古いと言われる方もあるようですが、先生の motto である「旧の善にならい、新の長をとれ」を、もう一度考え直す時期ではないでしょうか。私達河野タカ先生を知る者が、先生の教えを次の代の学生達に伝えることも桜山会の仕事の一つではないでしょうか。

又、短大開学三十周年記念に対しては、桜山会としても意義ある事業の達成を考えております。就任したばかりですので、具体的な内容はこれから各役員と相談し

第二十八回桜山会総会

平成元年七月九日(日)、第二十六回桜山会総会が、今回は北九州市の小倉ステーションホテルに於いて催されました。

高井学長をはじめ、お世話になった諸先生方をお招きし、同窓生



ながら進めて行きたい思います。

又、大学の情報等を桜山会だよりでお知らせして行き、大学の発展を願って最善の努力を傾けたいと存じます。

会員の皆様のご協力をお願いし、就任のご挨拶と致します。

三十名が集い、懐かしいひとときを過ごしました。

総会では、落ちついた雰囲気の中にも、新旧会長のそれぞれの胸中にある熱い思いが伝わる挨拶、発展していく大学についての学長挨拶、又、本会の現状報告、会計報告では真剣な質疑応答もあり、さらに新役員の任命が行われて最後に記念撮影と、その後は和やかな懇親会。こちらは、うってかわって楽しい雰囲気の中で、テーブルに並べられたご馳走を囲んで皆さん思い思いの話が尽きぬ様子でした。こうして今年も一年に一度のタイムスリップが終わっていき

お知らせします

次回、平成二年の総会は、下関シーモールパレスで七月八日(日)に行われる予定です。皆さんの御出席を期待しています。

関西支部会

秋に京都で!!

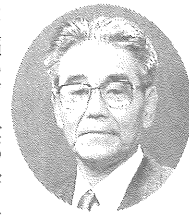
来る十一月十二日(日)に、本年度、関西支部会が京都にて行われます。関西地区在住の皆さん、是非御出席下さい。

詳しくは、支部長角石泰子さんまで

☎(078)792-2880

科名変更余話

学長 高井 徹



喧しい夏蝉の声も雲の峰と共に去り、碧梧葉にも秋韻漸く染め始めた今日この頃、会員の皆様如何お過ごしでしょうか。母校教職員一同、心からご健闘とご繁栄を祈っております。

さて、このたび桜山会学内役員の方から母校近況報告として家政科の科名変更についての記事を依頼されましたので、敢えてご挨拶を兼ね、標題について申し上げます。ご承知の通り、本学家政科は昭和三十七年の創設以来、良妻賢母の精神を基幹として、衣食住に関する学識・技術の涵養に努力が拂われてきました。しかし、近年著しい科学の変化に伴い、生活全般にわたって科学的知識を備えあらゆる生活事象に対して、高度な対応能力をもつことが必須の生活条件となってきました。このことから本学では、家政科本来の主要領域における生活系基礎教科目内容の刷新と充実を企てると共に、生活機能にかかわる関連科目

についても、社会生活力の増強を意図して、近代機器による情報処理技術、造形技術等々新しい実務教科目を充実する等の諸施策を着実に進めているところであります。このような教育の実状から、本学科の特色ある内容を表徴するため従来の家政科名を生活科学科と名称変更し、同時に課程を生活科学専攻と食物栄養専攻とする。こととし、昨年の六月から文部省高等教育局専門教育課へ申請し、三月七日ようやく受理されました。従って平成元年度入学生から新カリキュラムで既述の教育が実施されていきます。

ところで、当該学科では学科名称変更の記念行事として生活デザイン国際シンポジウムを六月七日から九日の三日間、市民会館大ホールで実施されました。この討論会には日本、イタリア、アメリカ、フランス、韓国など国内外の研究者、実務家二十三名が話題提供者として参加され、それぞれ専門領域の知見が述べられました。本学の学生は最終日に全員が参加し、盛大裡に納会しました。今や生活デザインは、人類生体系における重要な環境要因、とりわけ生活機能に影響を及ぼす因子として、その適性・選択性を基調とする学理・技術が放射状に進展しているように思考されます。このよ

うな現況から、本学では特に生活科学専攻の課程に、この領域の基礎的教科目を強化し、特色の具現を意図しているところであります。

一方、食物栄養専攻では本年度から調理実習に異色の先生を招聘して、実務教育に当たっています。申すまでもなく、「とらふぐうに」は下関市の名産品とされています。申すことから、下関でぶぐ調理の第一人者北川保氏（割烹喜多川社長）をお招きし、毎週木曜日当該学科生を対象に調理実習を担当していただいています。この実習は学生間で大変好評で、下関で学ぶ者の誇りとして意欲的に学習し、その様子は新聞、テレビ等にユニークな実践的教育として数回も報道されました。

以上生活科学科に関係した二つの話題をあげましたが、前述のように近年著しい特報化、国際化社会にあって女性が生活機能に正しく調和し得る素養を獲得することが重要で、具体的には新しい科学的知識を授け、これをベースに卒業後豊かで健全な生活力を発揮し、自らが至適な生活環境を創造することのできる人材育成が本学の教育目標と考へ、生活工学・生活経営学等々で教授陣容の充実を図り、又、教育機材施設についても強化計画を進めているところです。ご承知のとおり数年で進学者激

昭和63年度 桜山会決算報告書

(昭和63年4月1日～平成元年3月31日)

項 目	収入(円)	支出(円)	付 記
前年度繰り越し金	△ 7,551		
昭和63年度運営費	745,000		5,000円×149人
預 金 利 子	49,275		
通 信 費		444,000	はがき、切手等
総 会 費		141,840	第25回桜山会総会
活 動 費		196,950	役員会交通費等
印 刷 費		87,500	案内状、会報等
慶 弔 費		30,380	祝電、弔電等
事 務 費		23,590	諸消耗品等
卒業記念品代		92,500	500円×185個
支 部 補 助 費		50,000	
基本金より補助費	260,000		運営費不足のため
来年度繰り越し金		△ 20,036	
合 計	1,046,724	1,046,724	

総会の会計報告で、運営費が不足のため、基本金より運営費へまわすことが、全員一致で承認されました。

新役員紹介

本年度の新役員が選ばれました。新しい顔ぶれで張り切っています。どうぞ、ご協力お願いします。

(本部)		(関西支部)	
会 長	樋口 和枝	支 部 長	角石 泰子
副会長	原田 弘子	副支部長	大石 美江
会 計	古谷 和子	監 査 長	野口 和代
	小川富美子	監 査 員	秋本 幸子
	十六期生		
	六期生		
	四期生		
	三期生		
	二期生		
	一期生		
	六期生		
	五期生		
	四期生		
	三期生		
	二期生		
	一期生		
	六期生		
	五期生		
	四期生		
	三期生		
	二期生		
	一期生		

山中さん

「ご苦労様でした」
一期生 青木陽子(棕梨)



向かって左から青木・山中・河野
岡崎・山西

一期生として入学して以来、早いもので二十六年も過ぎてしまいました。年月の流れの早さに驚くばかりです。私が入学した時は、家政科のみで、学生も三十二名という少数でのスタートでしたが、とても家族的な雰囲気の中で和氣藹々としたクラスでしたので二年間の学生生活も束の間に過ぎたように思います。桜山会もその時に誕生し

「タカの鳥」のおしえ

七期生 藤井 康子

下関女子短期大学と私の出会いは、昭和四十三年の春です。今から二十年も前になります。あの時随分お世話様になりました。教授は……寮生活を共にした学友は……。

忘れかけていた人々との出会いが又、あるのだという喜びと、初

て、はや二十六回目の総会を迎え、本当に早いものです。

私は現在、京都に住んでいます。卒業以来一度も総会に出席したことがありませんでしたが、今回、長い間、桜山会の会長として努めて来られた山中会長さんが、後輩の樋口新会長さんと交替されると聞き、山中さんと同期生として一度出席して、お礼と感謝の気持ちを伝えたいと思いました。

本日に、長い間桜山会の為に御尽力下さいまして有り難うございました。心よりお礼申し上げます。

思い出あれこれ



「今回、総会に初めて出席していただいた方に、それぞれの思い出を、語っていただきました。」



向かって右藤井さん) めてこの会に参加させて頂くという不安で、前日は落ちつきませんでした。阿山教授がお見えになった時は、まるで学生にもどったようで、一枚の白い紙を用意され、初代学

長様のお姿を折り紙で教えて下さ

ましたので、総会の後も久し振りに学生時代にタイムスリップして話に花が咲き、楽しい一日を過ごせたことを喜んでいきます。

佐々木先生より短大の近況等をお聞きし、又立派な人学案内を戴き内容も益々充実して卒業生を沢山社会に送り出して各々活躍されている様子をお聞きすると、母校の発展に我々卒業生の一人として大変嬉しく思いました。どうかこれからも樋口新会長さんを先頭に後輩の方々の活躍で桜山会が益々発展していきまことを心よりお祈り申し上げます。

教え子を母校へ……

十三期生 福田有子(佐藤)

卒業して十数年、同窓会のご案内を戴くばかりでした。ピアノ講師をしております関係で一度も出席出来ませんでした。が、私の生徒の中に来年度、音楽科への入学希望者がいますので、是非諸先生方にお会いしたいと思

い、この度初めて桜山会総会へ出席させていただきました。

とても懐かしい諸先生方や同期の友達、初めてお目にかかる先輩・後輩の方々、何れも同窓という繋がりらしく、楽しい時間が過ぎ、それぞれの分野で、ご活躍

のこと、その他多くの面で、余りにも厳しすぎ学生生活とお別れしようかと思ったことが幾度もありました。今思えば我が娘として教育されたのだと感謝しております。言葉は人の心を左右する魔術を持っているようです。人が人に対してした時、まず言葉で表現します。学長様は、素晴らしい言葉を沢山の世に残していられしやる最も日本人的な女性であり、とても心豊かな人であったのです。

今回、この会にご出席されていた高井学長様も素晴らしい女性を



向かって右(福田さん)

目指して学生に接していらつしやるお姿が感じられましたことを、とても喜んでおります。

同窓会に出席し、昔の記憶を温めて頂きましたことを、大変嬉しく思っていると、こういう会に参加させて頂きましたことを心からお礼申し上げます。

楽しい一日を過ごさせて頂きまして有り難うございました。

今後この会を益々広げるとともに、学園のご発展と皆様方のご自愛の程をお祈り申し上げます。

一寸の虫にも・・・とか

生活科学主任 中野 憲二

この四月から、生活科学専攻に生活デザインコースが実施されている。そのデザインの前身は、となると頭が痛い。フランスの著名な建築家で、絵でも有名なポールジャック・グリエ(Poul-Jack Griello)は「デザインは全ての人に関係し、生活も、食事も、折しも、遊びもその中で行われている」とする。先日、テレビのコラムで環境デザイナーによるアメニティ都市のサンプルのような新しい形式のタウン施設が紹介されていた。従来のプールの概念を一掃した巨大なプールに波を起こしサーフィンが楽しめるように・・・とか

平成二年度 入学生募集!!

この何年か前から、入学生の中に皆さんの二世さんが、入って来られるようになりました。

親子二代で、母校を語れるなんて楽しいですね！
※来年度入学生募集しています。詳しくは短大事務局まで

試験入学	推薦入学	出願期間		選抜期日
		特別	一次	
二次	一次	10月11日(水)～10月26日(木)	10月28日(土)	
一次	一次	11月9日(水)～11月27日(月)	12月1日(金)	
二次	一次	1月9日(火)～1月20日(土)	1月23日(火)	
一次	一次	1月30日(火)～2月19日(月)	2月23日(金)	
二次	一次	2月26日(月)～3月24日(土)	3月27日(火)	



等々の企画、生産したデザインによるものが生活環境に入り込んで、生活をする人の意思は二の次となり、押し込まれた機械文明にうまく沿うような生活が強制される。通産省は、来年度より食空間を、より楽しく且つ合理化していく為のデザイナーの養成、必要な機器の製作について企業の育成を計ることとしている。又、ソーラーシステムを組み込んだ生活空間の在り方が、既に研究開発されている。生活デザインとは、などと定義しなくても、現実には具体化が進んでいる。しからば、生活デザインコースでも、という訳にはいかなない近未来生活を窺うほどの余裕はないから、ここは慎ましく衣食住の基礎的なものだけに限定した方が良さそうである。

六月の「生活デザイン国際シンポジウム」では、生活デザインの中心となる光・色・生活空間とそれに付随する造形について概念的な提言があったが、これは生活デザインコースを進めていく上で、参考になるものであった。わけの分からぬまま生活デザインの分野にと首を突っ込んで、グリコの概念に取付いたこの一年、頭の中はまさにくるくるであった。
(シンポジウム開催の節には、桜山会、山中前会長には大変お世話になりました。)

MOVEMENT

退任・新任の先生方

《退任》

家政科	教授	江本 敦子
保育科	講師	青木 末治
音楽科	講師	楠本 隆一
音楽科	講師	中村 時雄
音楽科	講師	福山 哲生
音楽科	講師	寺下 裕子
教務部		追田 結香
教務部		相良 裕香
事務局	事務局長	佐々木具慶
事務局	会計課長	河野 通明
明美寮	寮監助手	池田 悦子

ご指導有り難うございました。

CALENDAR

十一月以降、短大内、学外において、盛り沢山の行事が予定されています。お近くの方どうぞ、お誘いあわせてご参加下さい。

- 桜山祭(学園祭)
十一月四・五(土・日)(本学内)
- 音楽科定期演奏会
十二月九日(土)(下関市民館中ホール)
- チャリティショー
十二月十日(日)(シーモール泉の広場)
- 保育科創作発表会(下関文化会館)
平成二年二月四日(日)午後

《新任》

一般教育	講師	高橋 昌彦
生活科学科	教授	柳瀬 安正
生活科学科	助手	若本ゆかり
保育科	教授	志鶴 幸弘
保育科	講師	阿山 光利
音楽科	講師	荒木 浩一
音楽科	講師	山崎 勝幸
教務部	教務課長	浦上 哲之
教務部	教務課長	池田 悦子
教務部	教務課長	山本由紀子
企画広報室	広報室長	佐々木具慶
事務局	事務局長	天野 常春
事務局	会計課長	加藤 進
明美寮	寮母	高田 桂子

《亡くなられた先生》
米田泰雄(前図書館長)
平成元年一月
ご冥福をお祈り致します。

編集後記

会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
今年は何かと暗いニュースが相つぎましたが、これから秋に向かって少しは明るい話題を期待したいですね。
ところで、本部では年々増えていきます会員の皆様と出来るだけ、つながってきたいのです。そこで、住所変更や、結婚される方など、どうぞ本部宛にご連絡下さい。それでは又、次号で・・・